

【書式例 5-1】

令和4年4月28日

玉野市長

指定管理者

所在地 玉野市田井2丁目4464番地

商号称 有限会社みどりの館みやま

代表者氏名 代表取締役 山上 誠二



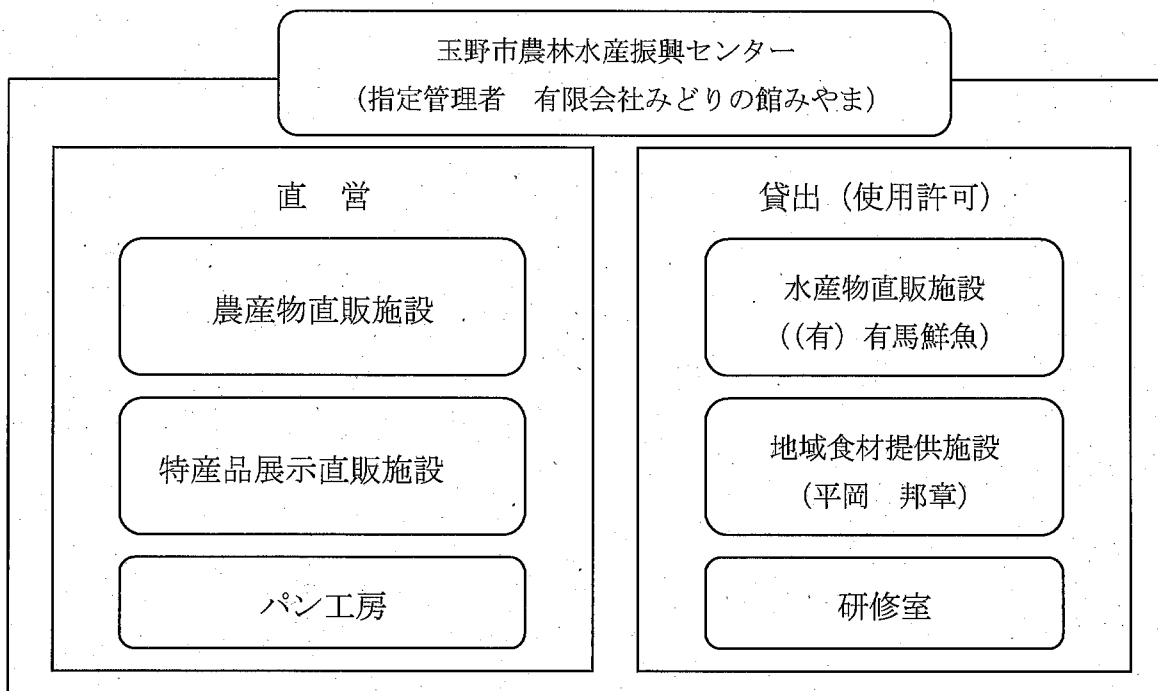
令和3年度玉野市農林水産振興センター指定管理者事業報告書

玉野市農林水産振興センター指定管理基本協定書の規定により、令和3年度の事業報告書を提出します。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図 (外部委託先を含む)



(2) 人員配置状況

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	12	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	
計		37	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施錠解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施している。

3 利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して単年度の使用を許可
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1件（(有)有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	1件（平岡 邦章）
研修室	使用許可	33件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

新型コロナウイルスの影響により全て中止

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

(1) 利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等

研修室使用料	23,000円
水産物直販施設	4,800,000円（400,000円×12月）
地域食材提供施設	2,640,000円（220,000円×12月）

(2) 減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等

研修室使用料	50,000円（自主事業、玉野市の公共使用等のため）
--------	----------------------------

2 管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

V 自己点検結果

施設利用者や、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取りを行うほか、関係機関からの意見聴取など、幅広く改善意見等の把握に努めている。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

水産物直販施設を改修して、直営のパン工房を開店し、新規顧客獲得を行った。従業員教育を推進し、接客マナー向上に努めた。

VII その他

第 24 期

経 営 状 況 説 明 書

内 容

1. 令和 3 年度決算の状況
2. 令和 4 年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和3年度

決算の状況

目 次

I.	令和3年度 事業報告書	-----	3
II.	令和3年度 決算書		
(1)	貸借対照表	-----	5
(2)	損益計算書	-----	6
(3)	販売費及び一般管理費	-----	7
(4)	製造原価報告書	-----	8
(5)	監査報告書	-----	9

I. 令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1 事業実施状況

令和3年度は、昨年度に続き新型コロナウイルスの影響によりイベントや生産者の研修はほぼ中止になったが、店舗は1年を通じて営業することができた。

道の駅みやま公園に対する高評価が周囲に浸透しており、来客数、出荷登録者数ともに増加傾向を維持している。その反面、週末の駐車場不足が問題となりつつある。

令和3年度の総売上額は、492,379千円(対前年度比+44,445千円、109.9%)で、昨年度に続き大幅な売上増となり、総売上高も平成15年度の457,942千円を大きく上回る過去最高を記録した。当期は5,536千円の営業黒字を計上し、経常利益は6,463千円となった。

(1) 農産物直販施設

店舗内のレイアウトを入荷量に合わせて常時変更し、お客様の見やすさ買いやすさを追求した。高齢による退会者も多くなってきたが、新たな出荷者として32人が登録して、登録者数全体では27人増加した。

売上額：332,613千円(対前年度比28,291千円 109.3%)

来客数：286,279人(対前年度比17,504人 106.5%)

登録者数：408人(対前年度比27人 107.1%)

(2) 特産品展示直売施設

新規登録者は6名増えたが、手作りマスクの販売登録者が売場縮小に伴い3月末で多数退会したため、登録者数は減少した。

売上額：107,161千円(対前年度比12,982千円、113.8%)

来客数：107,879人(対前年度比1,586人、101.5%)

登録者数：91人(対前年度比-10人、90.1%)

(3) パン工房

玉野産米粉食パンに続く、ご当地食材を使ったメニューを次々と開発しており、玉野の魅力を発信する魅力的な主要施設になりつつある。

売上額：52,604千円(対前年度比3,171千円、106.4%)

来客数：75,751人(対前年度比4,382人、106.1%)

(4) 研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、たまの楽農塾(4名)と合同で野菜・花・果樹等の栽培講習会を、備前広域農業普及指導センターの協力により7回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、1回のみ開催となり講習会には、17人が参加した。

【参 考】

(1) 水産物直販施設

令和3年度は臨時休業することなく、1年を通じて営業した。新鮮な瀬戸内の鮮魚や焼きアナゴが手軽に手に入ると好評で、直売所同様、近年人気を博しており、前年度比100.6%と売上を維持している。

売上額：164,308千円（対前年度比 1,051千円、100.6%）

(2) 地域食材提供施設

メニューの見直しをして、客単価がアップしたが、利用者数は減少した。

売上額：41,952千円（対前年度比 5,503千円、115.1%）

来客数：18,038人（対前年度比 -1,551人、92.1%）

2 役員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

就任年月日	役員名	氏名	備考
H30. 4. 1	代表取締役	山上 誠二	
H19. 7. 13	取締役	岡本 英俊	
H28. 9. 1	取締役	金川 洋一	支配人
H23. 6. 1	監査役	谷 貢	
R 3. 5. 24	監査役	山崎 秀樹	

3 法人登記に関する事項

監査役 1名増員

4 職員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

職種	勤務形態	人数	備考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	12	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	8	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	5	トイレ等清掃
計		37	

Ⅱ. 令和3年度決算書

(1) 貸借対照表

令和4年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	【 85,077,533 】	【流動負債】	【 40,286,255 】
現金及び預金	73,977,115	買掛金	3,213,272
売掛金	3,111,270	未払金	19,486,603
商品	1,299,862	預り金	14,168,980
原材料	1,495,565	法人税等充当金	3,301,400
貯蔵品	3,181,578	商品券	45,000
立替金	80,000	未払法人税等	71,000
未収入金	1,923,843		
仮払金	8,300	【固定負債】	【 1,500,000 】
【固定資産】	【 66,380,840 】	退職給与引当金	1,500,000
(有形固定資産)	(65,030,840)		
建物	22,061,202	負債の部合計	41,786,255
建物附属設備	35,464,036		
構築物	347,560	純 資 産 の 部	
車両運搬具	1,057,744	【株主資本】	【 109,672,118 】
設備造作	0	(資本金)	(3,000,000)
工具器具備品	6,100,298	資本金	3,000,000
(投資その他の資産)	(1,350,000)	(利益剰余金)	(106,672,118)
出資金	50,000	利益準備金	1,500,000
保証金	1,300,000	別途積立金	18,700,000
		施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	51,972,118
		純資産の部合計	109,672,118
資産の部合計	151,458,373	負債及び純資産の部合計	151,458,373

(2) 損益計算書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

科 目	金	額
		円
(経常損益の部)		
(営業損益の部)		
【純売上高】		
商品売上高	117,806,005	
売上高(パン工房)	49,272,121	
販売委託料	46,594,088	
販売手数料	3,487,353	
受取管理料	6,763,644	
登録・会費収入	1,145,476	225,068,687
【売上原価】		
期首棚卸高	2,159,966	
商品仕入高	81,938,810	
当期製品製造原価	48,485,865	
合計	(132,584,641)	
期末棚卸額	1,299,862	131,284,779
売上総利益		(93,783,908)
【販売費及び一般管理費】		88,247,667
営業利益		(5,536,241)
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	193	
道の駅清掃委託金	800,000	
急速充電器管理委託料	360,000	
雑収入	1,851,973	3,012,166
【営業外費用】		
営業外収入関係費用	1,921,653	
たまの楽農塾	143,861	
雑損失	19,079	2,084,593
経常利益		(6,463,814)
税引前当期純利益		(6,463,814)
法人税等		71,000
当期純利益		(6,392,814)

(3) 販売費及び一般管理費

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	45,500	円
給 料 手 当	35,330,965	
賞 与	8,350,685	
雑 給	58,000	
支 払 報 酬 料	1,624,000	
法 定 福 利 費	5,151,788	
厚 生 費	1,528,790	
減 価 償 却 費	8,321,639	
賃 借 料	21,046	
修 繕 費	1,734,675	
事 務 用 品 費	281,901	
消 耗 品 費	4,626,795	
水 道 光 熱 費	3,832,400	
旅 費 交 通 費	3,640	
支 払 手 数 料	965,296	
租 税 公 課	240,279	
交 際 接 待 費	0	
保 険 料	350,600	
通 信 費	327,588	
諸 会 費	78,225	
広 告 宣 伝 費	205,738	
新 聞 図 書 費	93,002	
荷 造 運 賃	371,260	
会 議 費	0	
清 掃 委 託 費	313,139	
車 輛 費	159,724	
研 修 会 費	0	
管 理 諸 費	1,690,947	
雑 費	57,373	
リ ー ス 料	5,696,840	
備 品 費	1,331,280	
地 代 家 賃	5,454,552	
合 計	(88,247,667)	

(4)製造原価報告書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

科 目	金 額	
		円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	1,508,011	
原材料仕入高	22,050,223	
小 計	(23,558,234)	
期末原材料棚卸高	1,495,565	22,062,669
【労 務 費】		
賃 金	13,214,722	
賞 与	2,049,375	
法定福利費	1,964,533	
厚生費	415,416	17,644,046
【製 造 経 費】		
水道光熱費	1,274,316	
消耗品費	1,855,934	
旅費交通費	0	
減価償却費	590,076	
修繕費	62,432	
車両費	6,038	
保険料	105,556	
備品費	459,016	
事務用品費	3,895	
リース料	3,699,642	
管理諸費	292,134	
諸会費	361,375	
広告宣伝費	910	
マリンpay費用	67,826	8,779,150
総製造費用		(48,485,865)
当期製品製造原価		(48,485,865)

監 査 報 告 書

令和4年5月16日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役 山上 誠二 殿

監査役 谷 貢 ⑩

..... 山崎 秀樹 ⑩

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの、第24期営業年度における取締役の職務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。
2. 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
3. 事業報告の内容は、真実であると認める。
4. 取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

令和4年度

事業計画の概要

目 次

I.	令和4年度 事業計画書	-----	12
II.	令和4年度 予 算 書	-----	13
	(1)販売費及び一般管理費内訳	-----	14
	(2)製造原価報告書内訳	-----	15
(参考)	売 上 高 の 推 移	-----	16

I. 令和4年度事業計画書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

今年度は、新型コロナウイルスとの関わり方が新たなフェーズに移行していく中で、今までにない新しい取組を計画し、それを実行に移す年とする。

出荷者向け先進地視察や意見交換会を積極的に開催し、農産物出荷者のレベルアップをサポートするとともに、栽培履歴の管理や農産物集荷システムについて、今年度中の導入を目指す。

昨年度立ち上げた清掃部門の業務について、4月から自主運営となったゴミ処理と施設周辺の花壇の美化に範囲を拡大して、道の駅周辺の更なる魅力向上を図る。

1. 農産物直販施設

販売登録者は毎年増加しており、農産物の売れ行きは好調だが、品質や荷姿にばらつきがあり、厳しいご意見を頂くことがあるので、出荷者と協議をしながら新たに直売所の独自ルール作りを実践する。昨年同様、継続的に出荷者・購買者双方に魅力的なサービスを提供する直売所を目指す。

市場からの商品は、岡山県産にこだわった仕入を行っており、出荷者の販売を圧迫しないよう留意し、購買者の機会損失に配慮する。

2. 特産品展示販売施設

玉野市内の事業者や玉野市産特産品のPRを積極的に行うとともに、道の駅みやま公園でしか手に入らないモノを増やす品揃えを推進する。

屋外ブース駅前マルシェは、玉野市の事業者による玉野産原材料を使用した商品に優先出店してもらい、賑わいを創出する。

3. パン工房

焼きたてパンのテイクアウトはお客様の支持を集めており、玉野産朝日米を使った第2弾商品米粉メロンパンも、お客様から高い評価を頂いている。原材料の仕入価格が高騰しているが、新商品を展開して利益を確保していく。

4. 研修室

昨年度コロナの影響により1回のみで開催となった花・果樹の栽培管理講習会について今年度は8回の開催を予定している。施設設備・備品の老朽化が目立ってきており、更新が急がれる。また、毎週1回使用していたデイサービスが、昨年度終了した。研修室使用頻度が減少するなか、新たな使用希望者を募る告知を進める。

【参考】

・水産物直販施設

名物の「焼きアナゴ」をメインに、地物の新鮮で安価な魚介類や、その加工品の提供とともに、より一層親しみやすい売り場にする。テナントには衛生面での責任意識を持たせ、今後も施設管理者として指導を徹底する。

・地域食材提供施設

看板メニュー(ここに来ないと食べられない料理)開発を引き続き要請していく。昨年同様、公共施設の自覚を持って経営するよう指導する。

Ⅱ. 令和4年度予算書

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日

科 目	予算額	前年度予算額
(経常損益の部)		千円
(営業損益の部)		
【純売上高】	(228,410)	(215,360)
商品売上高	118,000	112,000
売上高(パン工房)	52,000	50,000
販売委託料	47,000	42,000
販売手数料	3,500	3,500
受取管理料	6,760	6,760
登録・会費収入	1,150	1,100
【売上原価】	(131,970)	(124,520)
期首棚卸高	1,299	2,159
商品仕入高	82,000	77,000
製品製造原価	49,970	47,520
合 計	133,269	126,679
期末棚卸額	1,299	2,159
売上総利益	96,440	90,840
【販売費及び一般管理費】	92,745	87,775
営業利益	3,695	3,065
(営業外損益の部)		
【営業外収益】	(4,165)	(3,101)
受取利息	0	0
道の駅清掃委託金	2,305	741
急速充電器管理委託料	360	360
雑 収 入	1,500	2,000
【営業外費用】	(4,000)	(2,600)
営業外収入関係費用	4,000	2,500
たまの楽農塾	0	100
経常利益	3,860	3,566

(1) 販売費及び一般管理費内訳

単位：千円

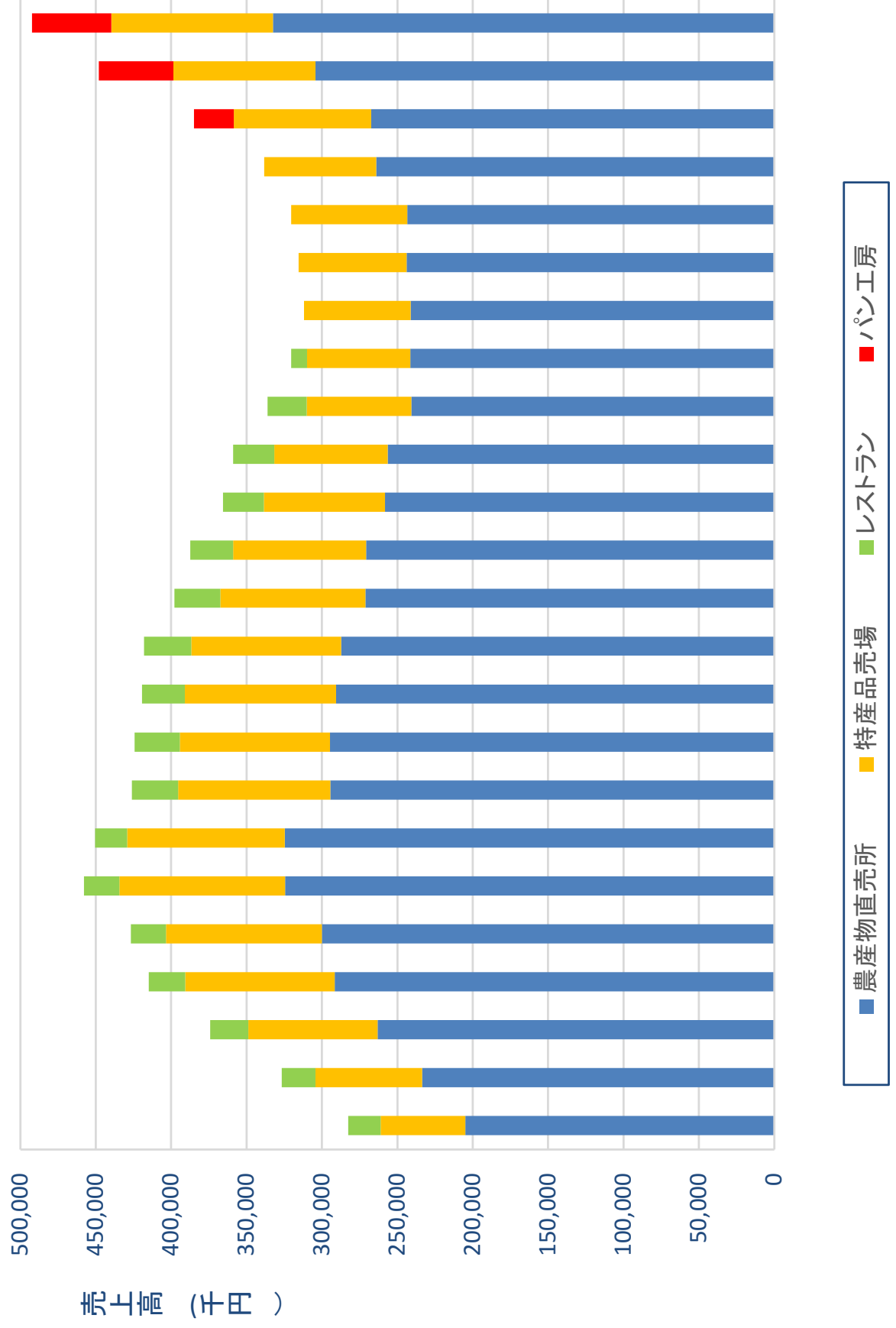
科 目	予 算 額	前年度予算額
役員報酬	50	50
給料手当	38,000	37,000
賞与	8,000	8,000
雑給	100	100
支払報酬料	1,800	1,800
法定福利費	5,200	5,200
厚生費	1,500	1,500
減価償却費	8,320	6,000
賃借料	50	50
修繕費	2,000	2,000
事務用品費	400	400
消耗品費	4,500	4,500
水道光熱費	4,000	3,200
旅費交通費	200	200
支払手数料	1,000	1,000
租税公課	250	250
交際接待費	30	30
保険料	360	360
通信費	330	330
諸会費	200	200
広告宣伝費	300	300
新聞図書費	90	90
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	1,000	150
車輛費	300	300
研修会費	300	300
管理諸費	2,000	2,000
雑費	100	100
リース料	5,500	5,500
備品費	1,000	1,000
地代家賃	5,450	5,450
合 計	92,745	87,775

※科目間の流用を認める

(2) 製造原価報告書内訳

科 目	予算額	昨年度予算額
		千円
【材 料 費】	(22,500)	(22,000)
期首原材料棚卸高	1,495	1,508
原 材 料 仕 入 高	22,500	22,000
小 計	23,995	23,508
期末原材料棚卸高	1,495	1,508
【労 務 費】	(17,800)	(16,600)
賃 金	13,500	13,500
賞 与	2,000	1,200
法 定 福 利 費	2,000	1,600
厚 生 費	300	300
【製 造 経 費】	(9,670)	(8,920)
水 道 光 熱 費	1,400	1,200
消 耗 品 費	1,800	1,200
旅 費 交 通 費	50	50
減 価 償 却 費	600	400
修 繕 費	200	200
車 両 費	10	10
保 險 料	100	100
研 修 会 費	50	50
備 品 費	600	1,000
事 務 用 品 費	50	50
リ ー ス 料	4,000	4,000
管 理 諸 費	300	250
諸 会 費	360	360
広 告 宣 伝 費	50	50
マ リ ン pay 費用	100	
合 計	49,970	47,520

売上高の推移



【書式例5-2】

指定管理業務実施状況点検台帳

玉野市農林水産振興センター

「*」は【書式例5-3】の評価項目に対応する。

項目	番号	内容詳細	*	確認結果	確認方法	備考
経営状況	1	直近の財務諸表等が提出され、経営の安定性に不安を感じるようなことはない	③	S	書類	売上高は好調で、経営状況は優良である。
	2	代表者や大口株主の変更などが適切に届けられている	③	/	/	
管理運営体制	3	統括責任者が明確にされ、市に届けられている	①	S	書類	責任者の変更がなく継続性がある。
	4	指揮命令系統が明確にされている	①	S	現地	支配人の指揮により実行されている。
	5	安全で快適な施設運営ができるための人員が確保されている	①	A	現地	
	6	利用者の安全確保について職員が内容を熟知している	①	A	現地	
許認可等	7	管理運営に必要な許認可を得ている	①	S	書類	営業許可の再確認など、滞りなく法令遵守している。
	8	管理運営に必要な有資格者を必要数配置している	①	A	書類	
帳簿の整備	9	経理に関する帳簿が作成され、適切に保管されている	③	S	書類	経理担当により適切かつ的確な処理が実行できている。
	10	利用実績に関する帳簿が作成され、適切に保管されている	①	A	書類	
	11	その他各種帳簿が作成され、適切に保管されている	①	S	書類	厳重に保管されている。
雇用関係	12	労働基準監督署に適切に届出等がなされている	③	S	書類	社会保険労務士と契約し、迅速に届出を行っている。
	13	指定管理業務の雇用条件が守られている	③	/	/	
市との連絡	14	月例報告・年次報告・その他必要な報告が適切に提出されている	①	A	書類	
	15	緊急時の連絡体制が明確化されている	①	A	現地	
	16	事件・事故等が発生した場合、遅延なく連絡されている	①	S	書類	責任者により適切かつ的確な処理が実行できている。
再委託等	17	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していない	①	A	書類	
	18	再委託した旨を市に届け出ている	①	/	/	
	19	再委託先から適切に業務報告させるなど、再委託先の業務を適切に管理している	①	/	/	
利用許可	20	特定の者に有利或いは不利な取り扱いをしていない	②	S	現地	常に適切かつ的確に処理している。
	21	(許可申請が競合した場合の) 抽選方法等は適当である	②	/	/	
	22	利用者から利用許可に対する苦情等がない	②	S	現地	常に適切かつ的確に処理している。
	23	許可条件等に反するものには、利用許可を与えていない	①	S	現地	常に適切かつ的確に処理している。
	24	誰でも簡単に許可申請できる体制となっている	②	A	現地	

項目	番号	内容詳細	*	確認結果	確認方法	備考
利用料金	25	定められた料金を適正に収受している	①	A	書類	
	26	利用料金の一覧表が見やすい位置に掲示されている	②	A	書類	
	27	キャンセル等による利用料金の還付等は適切に処理されている	②	/	/	
	28	減免対象者は、適切に減免している	②	A	現地	
施設等の維持管理	29	法定保守点検は、点検内容、時期等が法令基準に基き実施されている	①	S	現地	常に適切かつ的確に処理している。
	30	点検によって、異常等が認められた場合、速やかに、交換・修繕・調整等の適切な処置が実施されている	①	A	現地	
	31	自動ドア	①	A	現地	
	32	エレベーター	①	/	/	
	33	消防設備	①	A	現地	
	34	浄化槽	①	/	/	
	35	高架水槽	①	/	/	
	36	その他	①	A	現地	
備品等の維持管理	37	引き渡した備品等に過不足がない	①	A	現地	
	38	引き渡した備品等は、その機能が失われていない	①	A	現地	
施設等の清掃	39	整理整頓・清掃がなされ、美観を損なっていない	②	S	現地	
	40	トイレットペーパー・石鹸等、衛生消耗品が適宜補充されている	②	S	現地	
	41	植栽等が適切に剪定・草刈りされている	②	A	現地	
警備体制	42	(大量動員時の) 警備に関する体制が整備されている	①	A	現地	
	43	(夜間等) 職員不在時の警備体制が整備されている	①	A	現地	
	44	不審者等に対応するための体制が整備されている	①	A	現地	
	45	鍵の管理は適切である	①	A	現地	
防災・救急体制	46	防災(消防計画を含む)に関する体制が整備されている	①	A	現地	
	47	地震・台風・火災等に対応するための体制が整備されている	①	A	現地	
	48	避難経路等に障害物がない	①	A	現地	
	49	病気・負傷等に対応するための体制が整備されている	①	A	現地	
個人情報の管理	50	個人情報を適切に保管している	①	A	現地	
	51	他の目的で個人情報を使用していない	①	A	現地	
	52	他の目的の為に個人情報を収集していない	①	A	現地	
利用者のニーズ等	53	利用者のニーズを把握するための方策を立て、実行している	②	S	現地	新施設を開設した。
	54	利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施している	②	S	現地	常に業務改善を実施している。
	55	利用者増大のための広報を実施している	②	S	現地	HP、SNS等を有効活用している。
その他	56	光熱水費や再委託先への支払いが滞っていることはない	③	S	現地	常に適切かつ的確に処理している。
	57	租税公課について滞納がない	③	S	現地	常に適切かつ的確に処理している。
	58	地域住民から苦情等がない	②	A	現地	

確認結果凡例

凡 例	内 容	備 考 欄
S	高レベルで実施されており、高く評価できた。	高く評価できた事実を記述
A	適切に実施されており、問題がなかった。(不適切な事実は確認されなかった。)	
B	概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分 が確認されたが、既に改善済みである。	不適切な部分及び改善内容を記述
C	概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分 が確認されたが、現在改善に向けた対応中で、近 日中に改善される見込みである。	不適切な部分及び改善内容を記述
D	不適切な部分の確認されたため、改善を指示した が、未対応又は改善の見込みがなく、指定管理者 の取消し等の処分を検討する必要がある。	事実関係の詳細を記述
■	その他	具体的な事実を記述
/	該当なし	

確認方法凡例

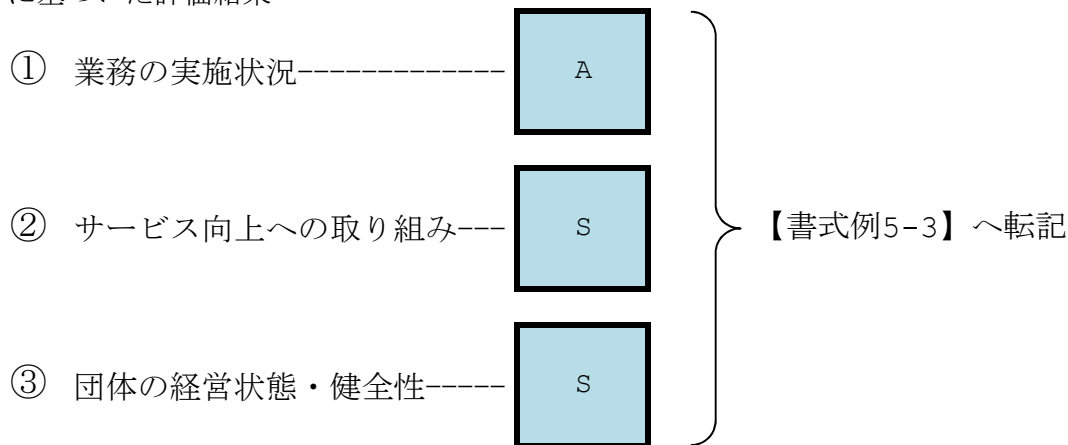
凡 例	内 容
書類	指定管理者から提出された書類により確認したもの
聞き取り	指定管理者(統括責任者等)から直接聞き取り調査を行い確認したもの
現地	市職員が直接現地調査を行い確認したもの(従事者から直接聞き取りした場合を含む)
アンケート	利用者アンケート等により確認したもの
その他	その他(備考欄に具体的な方法を記述のこと)

☆【書式例5-3】指定管理者点検結果への反映基準

S(優良)	→ 確認結果が全てB以上であり、かつSの割合※が50%を超える。
A(良好)	→ 確認結果が全てB以上である。
B(課題含)	→ 確認結果にCが含まれている。
C(要改善)	→ 確認結果にDが含まれている。
※「■」及び「/」は除き、S~Bの内のSの割合とする。	

<注>【書式例5-3】については、ホームページ上に公開しますので、「評価結果」は確認結果から画一的に評価することなく、施設等の実情に合わせて評価してください。

☆反映基準に基づいた評価結果



【書式例 5-3】

令和3年度 指定管理者点検結果

施設名	玉野市農林水産振興センター
所在地	玉野市田井2丁目4464番地
指定管理者	名称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住所 玉野市田井2丁目4464番地
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（5年間）
担当部課	産業振興部農林水産課 電話 0863-32-5561 E-mail nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評価内容の総括	総合評価
<p>指定管理者として適切に施設を管理しており、また、ここ数年、経営は好調を維持し、特に令和3年度は、総売上額が過去最高を更新し、経常利益も昨年度を上回るなど増収増益で経営状況は優良と評価する。</p> <p>事業内容としては、農産物直販施設及び特産品展示販売施設は、地元農産物等の販売拠点として地域経済の向上や安定的な商品を提供しており、パン工房(令和元年10月販売開始)は玉野産朝日米の米粉を使用した食パンやメロンパンを商品に加えるなど新商品の開発にも取り組み、売上増加に大きく貢献している。令和3年度は、農産物直販、特産品販売、パン工房ともに売上額及び来客者数ともに増加し、また、研修室の活用は、新型コロナウイルスの影響により講習会の開催は1回のみであったが生産者の技術や知識向上に繋がっており、生産者及び消費者にとって魅力的な事業内容になっていると評価する。</p>	S

■「総合評価」の評価基準

- S（優良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A（良好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p>【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。</p> <p>【法令等の遵守】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。</p> <p>【安全性の確保】 施設の修繕や、防犯カメラ増設や夜間警備による警備強化が図られるなど、利用者の安全確保は良好である。</p> <p>【財産の適切な管理】 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。</p> <p>【利用状況】 農産物直販所、特産品展示直売所、パン工房ともに来客数は増加しており利用状況は良好で、消費者にとって魅力的な施設となっている。 (来客数) 令和3年度 農産物 286千人、特産品 107千人、パン工房 75千人 令和2年度 農産物 268千人、特産品 106千人、パン工房 71千人</p> <p>【コスト削減への方策】 人事評価制度の導入や従業員教育により、従業員の働き方を指導することでコスト削減に取り組まれている。</p>	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
<p>歩行者用通路屋根を延ばし施設のバリアフリー化や、従業員教育により接客マナー向上に努めるなど、ハード面及びソフト面でサービス向上に取り組んでいる。</p>	S
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
<p>ここ数年、総売上額は前年度を上回り、経常利益も黒字を維持している。令和3年度は、総売上額が過去最高を更新し、経常利益も昨年度を上回るなど増収増益で経営状況は優良と評価する。</p>	S

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

【書式例 5-4】

令和3年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和 4年 3月 1日
施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井2丁目4464番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住 所 玉野市田井2丁目4464番地
指 定 期 間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5年間)
担 当	電 話 0863-32-0115 E-mail miyama@m-y.jp

評価内容の総括	総合評価
5年間の指定管理3年目は、施設の改修工事が完了して魅力が充実した。来客数も大幅に伸びて、過去最高売上高を達成し、来年度以降に更なる成長が期待できる結果となった。	A

■「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A (良 好) 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B (課題含) 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C (要改善) 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p>【適切な施設管理の履行】 規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃を徹底した。</p> <p>【法令等の遵守】 必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法令遵守に努めた。</p> <p>【安全性の確保】 施設内の定期的な巡回を行い、保守点検をし、必要に応じて小修繕を行った。 24時間防犯カメラの増設や、夜間警備の契約をして、万引き防止に努め施設内の警備を強化した。玉野警察署と連携し、犯罪撲滅に努めた。</p> <p>【財産の適切な管理】 施設内備品の適切な使用や保守管理を行った。</p> <p>【利用状況】 巣ごもり需要にマッチして、地元の利用者が増加した。</p> <p>【コスト削減への方策】 人事評価制度を導入して、昇級や賞与の基準を明確にしたことで、従業員の働き方に対する考え方を指導した。</p>	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
<p>歩行者用通路屋根を伸ばしバリアフリー化を実施し、施設全体の魅力向上に努めた。法令に則ったレジ袋の無償提供を実施している。</p>	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
<p>施設の魅力向上効果による来客と売上高の大幅増加により、経営状況は安定した。</p>	S

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。